

兵庫県保険医協会 北阪神支部 接遇研修会 (医療安全対策研修会) のご案内

押さえておきたい！ コロナ禍での接遇のポイント ～クレーム対応も含めて～

コロナ禍で医療機関はより一層の安心・安全が求められます。

今回の接遇研修会は、医療機関における接遇・マナーを理解し、患者さんの気持ちに配慮した接遇のスキルを習得。さらに、コロナ禍における対策と具体的な応対 (声掛け・案内方法) を学び、現場で活用できる実践力を身につけます。

講師は、数多くの企業研修等でご活躍の松田幸子先生をお招きします。

初めての方はもちろん、ベテランの方も日頃の接遇を見直すためにも受講をおすすめします。
ふるってご参加下さい。



日 時 5 月 21 日 (土) 午後 15 時～17 時

会 場 東りいたみホール 3 F 大会議室

伊丹市宮ノ前 1-1-3 伊丹市立文化会館 TEL : 072-778-8788

講 師 マネジメントコンサルタント 松田 幸子 先生

参加費 1,000 円 (受講された方には受講証を発行します)

定 員 40 人 (定員になり次第締め切ります) 筆記具の持参を
※感染対策を行います。マスクの着用と手指消毒をお願いいたします。
体調の悪い方はご参加ご遠慮してください。

お問合わせは協会事務局・大野、小川 (TEL078-393-1817) まで

FAX 078-393-1802

北阪神支部「接遇研修会」(5/21) 参加申込書

地区 [市・町] 医療機関名 []

TEL [] FAX []

参加者氏名	職 種	経験年数
		年 カ月
		年 カ月
		年 カ月
		年 カ月

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2022 年 4 月 25 日号 No.326

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

ラジオ関西「医療知ろう！」に出演

医薬品が足りない！

北阪神支部支部長 中井 通治 (宝塚市)



医薬品不足について説明する中井先生 (中央)

ラジオ関西番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう！」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に、3 月 17 日に中井通治先生 (中井医院・宝塚市) が「医薬品が足りない！」のテーマで出演した。出演内容の要旨を掲載する。

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ (<http://www.hhk.jp/topics/2021/1007-090000.php>) から視聴できる。

今、日本全国で一部の薬が医療機関や薬局でも手に入らなくなっています。手に入らなくなっているのは「ジェネリック医薬品」とか「後発薬」といわれる薬です。ジェネリック医薬品とは、特許が切れた薬を別のメーカーが同じ有効成分を使ってつくった薬のことで、有効性や安全性はもともとの薬と同様だといわれている薬のことです。

(次のページに続く)

(前のページより)



国が安全な薬を安定して供給
するように訴える中井先生

特徴としてはもともとの薬に比べて価格が安いという点があげられます。

今、品不足が問題になっているのはこうした薬で、薬局や医療機関への入荷が滞っている薬は少なくとも**3000 種類以上**だといわれています。具体的には、ぜんそくや花粉症などに使うアレルギーの薬、高血圧の薬、心不全の薬、脳卒中の薬など多岐に及んでいます。ご病気ををお持ちの方には怖いことですね。

ジェネリック医薬品が不足になった原因は 2020 年 12 月に発覚した**福井県のジェネリック医薬品メーカーが製造した水虫などの薬**に睡眠導入剤の成分が混入し、240 人以上の方に健康被害が出

ました。調査の結果、国が承認していない工程で薬を製造するなどの不正の実態が明らかになりました。これをきっかけに、全国の都道府県が他のメーカーにも立ち入り調査を行ったり、メーカーによる自主点検が行われた結果、複数のメーカーで製造工程の問題が明らかになり、相次いで業務停止命令が出されました。それで、医薬品が不足する事態になったのです。

背景には政府が**老人の医療費を大幅に低く抑えるために、ジェネリック医薬品の利用拡大を急に進めたという問題もあります**。もともとの薬よりも同じ有効成分のジェネリック医薬品の方が薬の値段が低いので、ジェネリック医薬品を使えば、**患者さんの窓口負担はもちろん、医療に投入されている税金や保険料も低く抑えることができるのです**。それで政府はジェネリック医薬品の普及を急速にすすめました。使用が急速に広がったことでメーカーは増産に追われ、その結果、採算がとれず品質管理がおろそかになったといわれています。また、ジェネリック医薬品の**価格を国が低く抑えすぎたため、各メーカーは品質管理のコストを抑えてしまったという面もあります**。確かに、価格の安いジェネリック医薬品は魅力的ですが、**価格を下げるすぎた結果、健康被害や供給不足が起こってしまっは本末転倒です**。海外の先発メーカーも日本での販売をあきらめた会社があります。

実は、医薬品の不足は今回が初めてではありません。2018 年にも感染症の治療に使う薬が不足したことがあります。この時の原因は、日本のメーカーに薬の原材料を輸出していた中国のメーカーが突然、出荷を停止したためです。日本のジェネリック医薬品の 59.6%が外国産の原料を使っています。原料の生産国のうち最も多

(次のページに続く)

(前のページより)

いのは中国で次がインドです。外国も採算が合わないと作らないのは当然です。

皆さんの命と健康を守る薬の多くを外国に頼っているということには注意が必要です。国はきちんとお金をかけて、国内で原料から医薬品を製造できる体制をつくるべきだと思います。



幹事会だより

第 415 回 4 月 7 日 (木) 宝塚市 参加 7 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

3/31 現在 医科 361 人 (74%)、歯科 213 人 (65%)

◆情勢と医療運動対策

4 月幹事会では 2022 年度診療報酬改定研究会の総括、総会議案と 2021 年度支部決算見込みと 2022 年度予算要求について確認した。診療報酬改定研究会ではコロナ禍の中、医科 70 人、歯科 52 人の参加となり、75 歳以上 2 割化反対署名は 101 筆集まった。7 月 16 日 (土) に神戸共同経理事務所の中村明税理士を講師に税務調査の研究会を行うことを決定した。

◆当面の支部活動

5 月 21 日 (土) 15 時～接遇研修会を東りいたみホール 3F 大会議室にて開催予定。(4 面にて案内掲載)

7 月 16 日 (土) 15 時～税務調査研究会を東りいたみホール 3F 大会議室にて開催予定。後日ご案内をお送りいたします。

◆次回幹事会

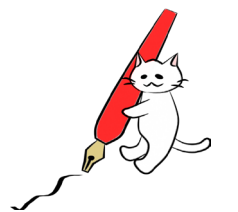
5 月 12 日 (木) 14 時 30 分～ 「宝塚中央公民館 206 号室」にて開催予定

お問い合わせは TEL 078-393-1817 小川・大野まで

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当：大野まで